

皆様こんにちは。ミューズ・ホールオルガニストの石丸由佳です。
いよいよ今月末に迫ってまいりました、ミシェル・ブヴァール オルガン・リサイタル。ブヴァール氏については前回のオルガン通信でご紹介したので、今回はリサイタルの曲目に注目してみたいと思います。



ブヴァール オルガン・リサイタル プログラムの注目ポイントをご紹介します！

青年時代のブヴァールが衝撃を受けたバッハ

フランス・オルガン音楽の伝道師と言われるブヴァール。来日公演ではやはりフランスの作品を披露することが多いのですが、今回所沢ミューズでのプログラム前半はなんと〈オール・バッハ・プログラム〉。そして後半最後を締めくくるのは、ドイツ・ロマン派のリストの作品（バッハのカンタータの通奏低音による変奏曲）と、バッハを軸としたプログラムでお贈りします。



リサイタルの前半は
オール・バッハ・
プログラム!!

いくつか演奏されるバッハの編曲作品はアンドレ・イゾワール（1935-2016）がアレンジしたものです。イゾワールはサン・ジェルマン・デ・プレ教会やサン・セヴラン教会などのオルガニストを歴任したフランス・オルガン界の巨匠で、ブヴァールの師匠でもありました。

ブヴァールは青年時代に師イゾワールのリサイタルを聴きに行った思い出を「息をのむような美しさ！バッハの《4台のチェンバロのための協奏曲》の編曲は素晴らしく、ダイナミズムと表現力、優美さと音楽的知性をあわせ持った、オルガンの金細工の魔術師のようだと思った！」と語っています。青年ブヴァールに衝撃を与えたその《4台のチェンバロのための協奏曲》も今回ミューズで演奏されます！



アンドレ・イゾワール(1935-2016)
ミシェル・ブヴァールが師事した
フランス・オルガン界を代表する巨匠

フランクからブヴァールへ フランス・オルガン音楽の黄金の系譜

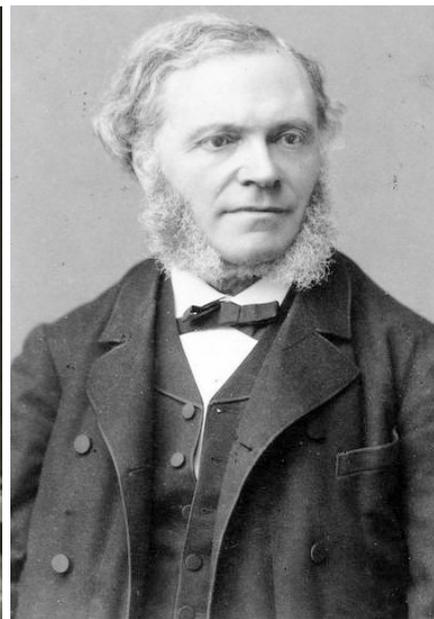
後半で演奏される〈ノエル〉の作曲家であるジャン・ブヴァールはミシェル・ブヴァールのお爺さまで、大作曲家ヴィエルヌに師事したオルガニスト・作曲家です。そのヴィエルヌの師匠が、今回演奏される〈コラール第3番〉を作曲したセザール・フランクですので、今回のリサイタルでは、フランクから脈々と受け継がれるフランス・オルガン音楽の真髓を感じることができるでしょう。

(来年3月の原田真侑さんのリサイタルでは、ヴィエルヌの大作《オルガン交響曲第3番》が全曲演奏されますので、こちらもお楽しみに！)

ドイツ語も話すブヴァールですが、親子代々また師から弟子へ脈々と受け継がれてきたフランス・オルガン音楽の精神をもって、ドイツ音楽がどのような色彩を描くのかも、注目です！



ルイ・ヴィエルヌ(1870-1937)



セザール・フランク(1822-1890)

2024年11月30日[土] 14時開演 アークホール

ミシェル・ブヴァール オルガン・リサイタル

好評発売中！ 一般 2,000円

メンバーズ特割 1,500円

公演詳細
はコチラ



Profile

ミューズ・ホールオルガニスト

石丸 由佳 Yuka Ishimaru



シャルトル国際オルガンコンクールで優勝、併せてJ.アラン賞受賞。パリのノートルダム大聖堂をはじめとするヨーロッパ10カ国以上の各地、および日本全国で演奏を行っている。東京藝術大学卒業、同大学院修了。デンマーク王立音楽院、ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学修了。所沢市民文化センターミューズホールオルガニスト。武蔵野音楽大学非常勤講師。ココペリオルガンスタジオ/教室主宰。

11/30 2024年(土)
13:15開場 14:00開演

所沢市民文化センターミューズ
アークホール
(全席指定) ¥2,000 (メンバーズ特割) ¥1,500
チケットのお求めは ミューズチケットカウンター
TEL.04-2998-7777
チケット発売期間: 10月30日(金) - 11月6日(水)
※チケットは先着順です。全席完売となります。

ミシェル・ブヴァール
「オルガン」

JSバウワ
バシカリア ハ短調 BWV538
コラール 奏曲
「お人よ、故の罪の深い心を脱け」 BWV622
コラール 奏曲
「目覚めよと野ぶるあり」 BWV615
短調 奏曲 第3番 BWV1068上
「信望上のアリガト」*

1台のチェンバロのための協奏曲
「阿蘭 BWV1065」
*「オラトリオ」

コラール
「3つのコラール」より 第2番 イ短調

ワグネル
「ワグネルの(3番、第4番、第5番、第6番)」と
「7つの楽に付けられた」の選集録音による
奏曲 BWV/R332
ほか

Michel
Bouvard
Organ Recital in MUSE